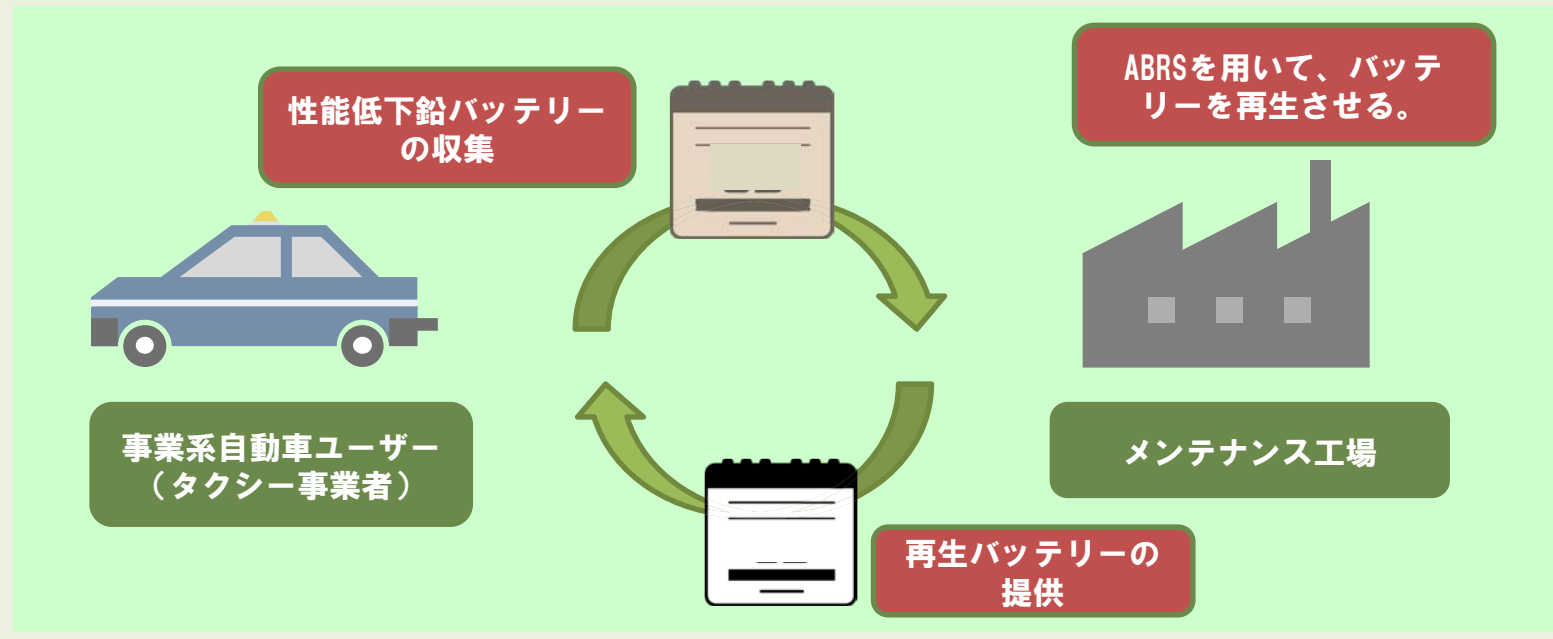


採択事業の紹介

インドネシア共和国ジャカルタ特別市における 使用済自動車用鉛バッテリー再生事業 株式会社ユーパーツ（平成26、27年度）

<目指している事業>

- (株)ユーパーツが独自開発した使用済み自動車用鉛バッテリー再生機器「Advanced Battery Recovery System（以下「ABRS」という）」を用いバッテリーの再生事業を行う。
- 廃鉛バッテリーとなる前に再生技術を適用することでバッテリーを延命化し、廃鉛バッテリーの発生を抑制するメンテナンスモデルを実施する。
- 現地タクシー事業者と連携することで、性能低下バッテリーのメンテナンスを継続的に行い、不適正処理業者への廃鉛バッテリー流入量を抑制する。



採択事業の紹介

＜実現可能性調査での成果＞

ジャカルタ市における処理対象廃棄物の発生・処理の状況

- ジャカルタ特別市では、廃鉛バッテリーが年間約1,300万個（推定）発生している。
- 使用済み自動車用鉛バッテリーには有害物質である希硫酸が含まれているが、不適正処理業者への使用済み自動車用鉛バッテリーの流入と環境汚染の発生が課題となっている。

事業実現性の検討

- タクシー事業者において古くなった鉛バッテリーをバッテリー再生工場に運び、再生を行った上で再利用することで再生料を徴収する事業モデルについて検討を行った。
- 現地にバッテリー再生ラインを設置し、現地タクシー会社から提供された鉛バッテリーについて再生事業を試行した。
- タクシー用に用いられているバッテリーは市中と比較して種類が限られているためメンテナンスが実施しやすい特徴がある。試験による製品化率38%を達成した（サンプル数40）。
- 試行結果を元に事業性を評価した結果、ジャカルタ市内大手タクシー事業者2社を対象に2期目に12,000個のメンテナンスが実施できれば事業性が得られる結果となった。

＜実現可能性調査後の状況＞

- (株)ユーパーツと(株)リクロスエクспанションが現地企業との合併企業設立予定。
- 近く、現地タクシー事業者向けのメンテナンスモデルを開始予定。タクシー業者との契約に合意している。
- 将来的には、廃鉛バッテリーを仕入れたうえで再生処理を行い、一般・事業者向けに販売する事業モデルも実施することを想定している。